



甲府市 情報発信課 プロモーション推進係 主任

大塚 千恵

Chie Otsuka



私は平成31年4月、甲府市で初めて「民間企業等職務経験者」として採用されました。これまで県外で編集の仕事をしていた経験を活かし、SNSやラジオでの情報発信、市民・学生レポーターとの取材、県外でのPR活動など、市のプロモーションに関わる業務を担当しています。

市の情報や良さを伝えるためには、まず私自身が甲府を知らなければいけません。10年以上山梨を離れていたため、平日・週末問わず市内を駆け回り、「甲府を知る」毎日です。そんな私にとって、こうふ開府500年、中核市移行など、市がさまざまな節目を迎えた年に入庁できたこと、そして、市の動きや情報が集まり、他部署との関わりが多い課に配属されたことは、甲府を知るだけでなく、市役所を知る上でも大変勉強になっています。

聞き慣れない用語や仕事の進め方など前職との違いに戸惑いもありますが、皆さんに情報を“わかりやすく伝える”ことは、前職も今の仕事も同じです。これからも移住者、民間経験者という視点で考えられる強みと、前職で培ってきたスキルを活かして、市内に住んでいる人にもいない人にも「甲府っていいな♪」と思ってもらえるような情報を発信していきます。

市町村職員



富士吉田市 管財契約課 管財担当 主事

佐藤 雄紀

Yuki Sato



私は令和2年度に富士吉田市役所に採用され、総務部管財契約課に配属されました。

業務内容は、庁舎管理や市有財産の使用許可といった市の財産管理に関わる仕事を担当しています。

扱う業務が多岐にわたるため、複数の業務を並行して進めることや、迅速かつ正確な対応が求められます。学生の頃にはない責任や重圧で困難に感じることもありますが、多くの知識を学べることに喜びを感じながら日々の業務を行っています。

現在、新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るっています。本市では「コロナに負けるな・コロナに負けない」をスローガンに、様々な施策を行っています。私は庁舎管理担当ということで、飛散防止ボードやアルコール噴霧器の設置を進めることによって、市民の方々や働く職員が安心して庁舎を利用することができる環境づくりを心がけています。

配属されて約1年経ちますが、多くの人に支えられて日々の業務を行うことができました。周りの人への感謝の気持ちを忘れず、多くの人の役に立てるような職員になれるよう日々努力していきたいと思っています。

忍野村 税務課 軽自動車税担当
主事

小山田 磨依

Mai Oyamada



私は平成31年4月に忍野村役場の職員として採用され、税務課に配属となりました。主に税務証明書の発行などの窓口業務、軽自動車税の課税を担当しています。

窓口で対応をしていると、税金の仕組みや制度について説明する機会が多くあります。税金には複雑な仕組みや制度があり、使われている用語も難しく感じます。そのため住民の方々に説明する時には、知っている知識や用語をそのまま使うのではなくより分かりやすい言葉で伝えるように心がけています。また、説明をする際には細かい部分の説明を省略せずに伝えることも意識しています。

まだまだ知識不足なこともありうまく伝えることができずに悩むこともありますが、上司や先輩方に教えていただき日々たくさんのことを学ぶことができる今の業務にとってもやりがいを感じています。

住民の方々の大切な税金を扱う仕事ですのでより丁寧に間違いのないように、努めていきたいと思っています。

山中湖村 建設水道課 建設グループ
主事

浅見 祐亮

Yusuke Asami



私は、令和2年4月に山中湖村役場の職員として採用されました。

私が担当する建設水道課の建設グループでは、村内道路の拡幅や修繕、排水設備の設置や管理、橋梁の点検等と多岐にわたる業務を行っています。専門性の高い分野であり、住民の生活に直結する業務が多いため、責任や迅速な対応が求められ、住民の方々に多くの叱咤激励をいただきますが、山中湖村のインフラ整備を担っていると考えると、これ以上ないやりがいのある大事な職務と感じられる毎日です。まだまだ知識不足で学ぶことも多く、現場では柔軟な考えや対応が求められ、職場の先輩方に一つ一つ指導していただきながら少しずつ成長できるように取り組んでいます。

山中湖村は富士山と湖の景色が素晴らしい地域です。そこに住む人たちが安心して生活でき、訪れる人たちが楽しく観光ができるように、自覚と責任を持ちながら業務にあたり、今後も山中湖村に貢献していきたいと思っています。



市町村振興協会たより

宝くじの発売状況と宝くじ販売促進のための緊急対策について

今号の振興協会たよりでは、令和2年度のサマージャンボ宝くじ及びハロウィンジャンボ宝くじの発売状況と、今後も宝くじによる収益を安定的に確保していくため、新規の若年層の購入促進による売り上げの増加や既存顧客を対象とした売場の売上維持を図ることを目的に、全国自治宝くじ事務協議会において令和2年度から令和4年度の3カ年で実施されております、「宝くじ販売促進のための緊急対策」の、令和3年度の内容について紹介します。

1 宝くじの発売状況について

本年度は、宝くじ販売促進のための緊急対策等をはじめ、新型コロナウイルス感染拡大に伴う「巣ごもり消費」が広がり、インターネット購入が伸びる等の影響で、令和2年度のサマージャンボ宝くじ及びハロウィンジャンボ宝くじの販売実績は、両ジャンボともに次のとおり前年度を上回る結果となりました。

- ・サマージャンボ宝くじ 約743億円（前年度比10.37%増）（山梨県 約5億28百万円、前年度比15.19%増）
- ・ハロウィンジャンボ宝くじ 約348億円（前年度比 9.98%増）（山梨県 約2億54百万円、前年度比11.60%増）

本県は、各市町村におかれまして、広報活動や宝くじ臨時販売など宝くじ売り上げ増進に向け、様々な取り組みをいただきました。誠にありがとうございました。

2 令和3年度宝くじ販売促進のための緊急対策の内容について

(1) 若年層への販売促進策(予算額 約29億円)

ブランディング広告については、好評であった5人組を起用したCM等を継続し、若年層へ宝くじブランドイメージ向上を訴求していくとともに、若年層に人気のあるスクラッチくじの当せん金率の引き上げを行います。（200円スクラッチ45%→47.5%、100円スクラッチ40%→48%に引き上げ）

(2) インターネット販売促進策(予算額 約80億円)

令和元年度の宝くじ公式サイトでのインターネット販売実績（373億円、販売実績全体に対するシェア4.7%）及び宝くじ公式サイト会員数（282万人）と、順調に増加しています。しかし、宝くじ公式サイトでの会員登録者のうち、決済情報登録数は、全体の約55%であることから、新規会員登録（決済情報登録）を、265万人を目標に促進していきます。

また、販売実績等を踏まえた施策効果の検証を行い、より効率化を図りつつ、顧客還元を中心としたキャンペーン等を引き続き展開していきます。

(3) 売場での販売促進策(予算額 約35億円)

地方を中心とした売場の廃止による既存顧客の剥落の抑止を課題として、販売実績等を踏まえた施策効果の検証を行い、より効率化を図りつつ顧客還元を中心としたキャンペーン等を引き続き展開していきます。

3 「緊急対策」の実施に要する財源

緊急対策財源は、通常経費の枠外で、時限での特別な財源対策を引き続き講じ、広報宣伝費等の既存経費の節減を図り、ブランディング広告や当せん金率の引き上げに充当します。

また、時効当せん金が本来顧客に還元されるべき資金であることを踏まえ、前々年度に納付された時効金相当額（令和3年度：約144億円）を上限に、当該年度の宝くじ予算における収益（見込）額から減額し、当せん金率の引き上げや顧客還元を中心としたキャンペーン等に充当します。

本協会でも、サマージャンボ宝くじ及びハロウィンジャンボ宝くじの売上確保に向けて、各種PR活動に努めて参りますので、各市町村におかれましても、魅力あるまちづくりのための貴重な財源である宝くじの販売促進に、引き続きご協力をいただければ幸いです。

令和3年度

サマージャンボ宝くじ 発売期間 7月13日(火)～ 8月13日(金)
ハロウィンジャンボ宝くじ 発売期間 9月22日(水)～ 10月22日(金)



河西 和哉さん

Kazuya Kasai
(中央市政策秘書課 市政戦略担当
主幹)

「若年層をターゲットとした市政戦略の推進へ」



中央市の人口は自然減・社会減となっており、その速度は緩やかながらも減少を続けてきました。

このままで将来にわたって活力あるまちを維持していけるのか。そんな危機感を抱きながら本市の人口動態を分析し、分かったのは子育て世代である若年層の一貫した転出超過でした。若い世代が定住先を探して市外へ出ていってしまう、といった状況が続いていたのです。

それならば若い世代の市内定住を応援しよう、と現在実施しているのが「中央市若者世帯定住奨励金事業」です。本事業は、市内の住宅購入の多くが未就学児や小中学生のお子さんがいる子育て世代で占められていたことから、20代から30代の新築住宅の購入を支援することで、若年層の市内への定住を加速化させようと始めました。その結果、令和元年は20代と30代の社会増減を、長らく続いた転出超過から転入超過へと転換させることができました。

人口対策は、決して一朝一夕で評価できるものではありませんが、中央市に住みたいと思っていただけるまちづくりを目指して、今後も様々な人口対策に取り組みます。

AFTER NOTES

編集後記

はじめに、このコロナ禍で大変ご多忙の中、本号の発行にあたり、執筆いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

今回の特集は、「アフターコロナの移住・定住」として、新型コロナウイルス感染症拡大を契機に、改めて地方への移住や二拠点居住への関心が高まっている中、山梨県をはじめ、県内自治体等の取り組みについて紹介するとともに、臨時トピックスとして、県と市町村が丸一となって児童虐待の根絶を目指す、「児童虐待ゼロやまなし共同宣言」の取り組みを掲載しました。

また、協会たよりにおいて、令和2年度のサマージャンボ宝くじ及びハロウィンジャンボ宝くじの販売状況等報告いたしました。宝くじの販売促進について、引き続き皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

市町村職員情報誌「やまなし自治の風」編集委員会

役職名	団体名	補職名	氏名
委員長	山梨県市長会	事務局次長	村松 広幸
副委員長	甲 府 市	総務課主任	村松 雄太
委 員	富士吉田市	企画課主任	西海枝雅和
	都 留 市	総務課主任	山本 理恵
	韮 崎 市	総合政策課副主査	西野 早紀
	南アルプス市	政策推進課副主査	塚原 あや
	身 延 町	企画政策課主査	内藤 伸一
	南 部 町	企画課主事	四條 将也
	昭 和 町	総務課主任	塩田 将大
	道 志 村	ふるさと振興課主任	杉本 悠
	富士河口湖町	政策企画課主任	雨宮 恭平
	山 梨 県	市町村課主任	出羽 豊
	山梨県町村会	振興課主事	山田 裕子

信玄公生誕500年 いざ出陣!



今なお語り継がれる
伝説のヒーロー。

500

LEGENDARY HERO TAKEDA SHINGEN, 500TH BIRTHDAY

2021年11月、郷土やまなしの英雄、
武田信玄公の生誕500年を迎えます。

信玄公生誕500年記念事業実行委員会では、
この歴史的な節目を全県挙げて盛り上げていけるよう、
各種記念イベントを開催しています。

記念イベント等

- ◆ フォトコンテスト
- ◆ 広域スタンプラリー
- ◆ 生誕500年記念イベント etc...

各市町村でも各種イベントを開催予定!
イベント開催時期など、
詳細は公式Twitter、特設サイトをチェック!



twitter や 特設サイト で最新情報をチェック!

◆ 「信玄公生誕500年記念事業」の
最新情報はこちら!
イベントやキャンペーン、信玄公ゆかりの地
めぐりなど最新情報がもりだくさん!

@500shingen
<http://twitter.com/500shingen>



◆ 特設サイトは
こちらから!



<https://www.yamanashi-kankou.jp/shingen500nen/index.html>



〈問い合わせ先〉 信玄公生誕500年記念事業実行委員会 事務局 山梨県観光文化部観光資源課内 TEL:055-223-1573